

科目名		授業形態	担当教員名	
身体障害評価学Ⅰ		演習・講義	山本 翔太・井上 直樹・大永 寛	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
身体障害領域の作業療法評価の意義、目的、方法について学ぶ。知識と技術の獲得と両者の統合を目指す。				
授業の到達目標				
1. 作業療法評価とは何かを説明できる。4. 以下の各評価法の意義、目的、方法を説明できる。 2. 記録・報告の意義、目的、方法を説明できる。5. 以下の各評価法を実施できる。 3. 評価結果を記録できる。 ⇒ 骨・関節の視診と触診、関節可動域測定、面接、観察、意識、バイタルサイン、循環・代謝・体力				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション、作業療法評価とは何か			
2	作業療法評価とは何か			
3	骨・関節の視診と触診			
4	関節可動域測定（ROM）			
5	関節可動域測定（ROM）			
6	関節可動域測定（ROM）			
7	関節可動域測定（ROM）			
8	関節可動域測定（ROM）			
9	関節可動域測定（ROM）			
10	記録・報告			
11	面接法・観察法			
12	面接法・観察法			
13	意識、バイタルサイン、循環・代謝・体力			
14	意識、バイタルサイン、循環・代謝・体力			
15	意識、バイタルサイン、循環・代謝・体力			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	40%			
レポート・課題	10%	予習として講義ノートを毎授業で提出する。提出の有無と内容で評価する。		
小テスト	10%	随時小テストを行う。		
平常点				
その他	40%	ROM実技試験で評価する。		
自由記載	再試の場合には筆記試験とROM実技試験とで採点を行う。			
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第4版		能登真一 他編	医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
備考				
予習が講義参加の前提である。実技がある講義ではKCで参加すること。後期中にROMの実技試験を行う。				